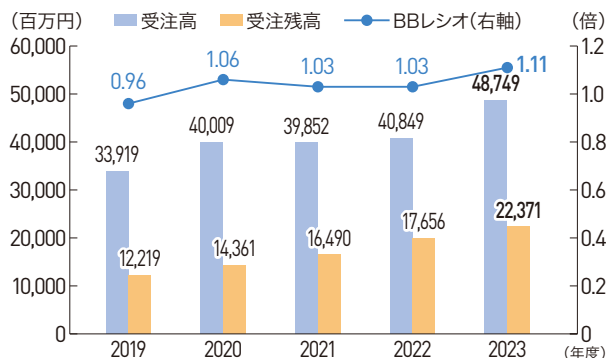


# 財務・サステナビリティ情報ハイライト

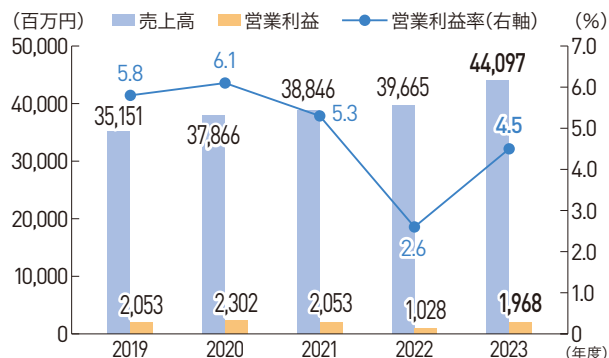
## 財務ハイライト

### ◆ 受注高と受注残高及びBBレシオ



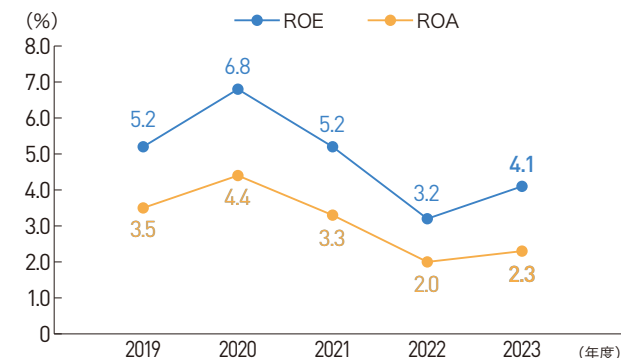
2023年度の受注高は、前年度比19.3%増の487億49百万円と好調が続いており、期末受注残高は223億71百万円（月商6.1ヶ月）と高水準を維持しています。受注高を売上高で除したBBレシオは、同0.08pt改善の1.11倍となりました。

### ◆ 売上高と営業利益及び営業利益率



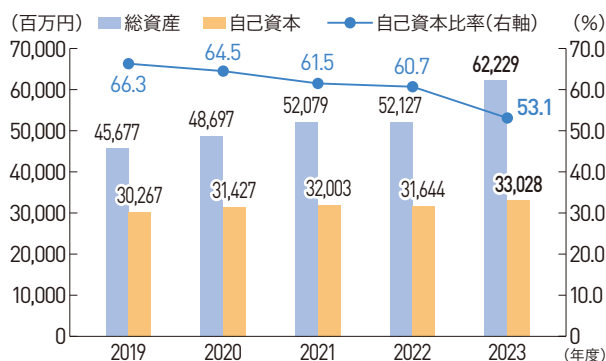
2023年度の売上高は前年度比11.2%増の440億97百万円となりました。営業利益は各種費用の増加を増収効果と製品価格の改定等で吸収し、同91.4%増の19億68百万円へ伸長しました。この結果、営業利益率は同1.9pt改善の4.5%となりました。

### ◆ ROEとROA



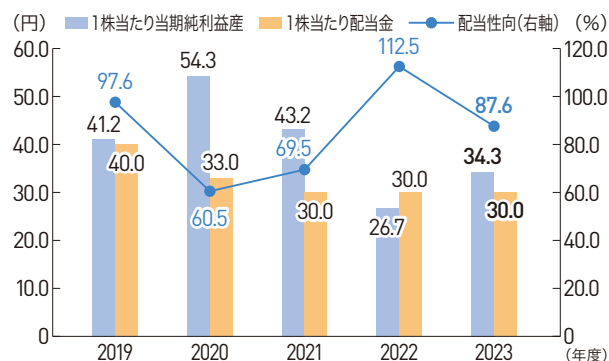
2023年度のROE（自己資本当期純利益率）は、業績回復を主に前年度比0.9pt改善の4.1%となりました。一方、ROA（総資産当期純利益率）は、有利子負債の増加を背景に、総資産が増加したこと等から、同0.3pt改善の2.3%となりました。

### ◆ 総資産と自己資本及び自己資本比率



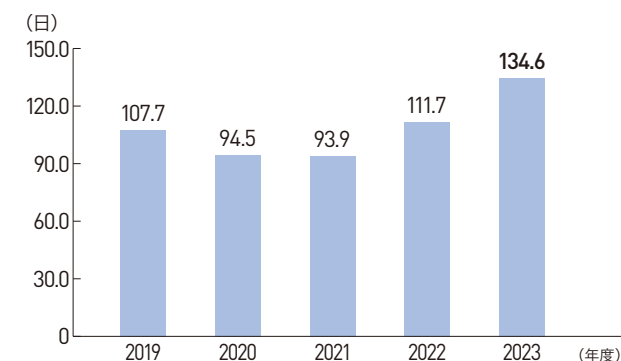
2023年度の自己資本比率は、前年度比7.6pt低下し、53.1%となりました。自己資本は、同13億84百万円増加の330億28百万円となりましたが、総資産が同101億2百万円増加の622億29百万円へ拡大したことが主因です。

### ◆ 1株当たり当期純利益と配当金及び配当性向



当社は公約配当性向60%以上を掲げています。2023年度の1株当たり配当金は、前年度と同額の30円となりましたが、配当性向は87.6%と公約配当性向を上回りました。今後も自社株取得を含む株主還元強化を図ります。

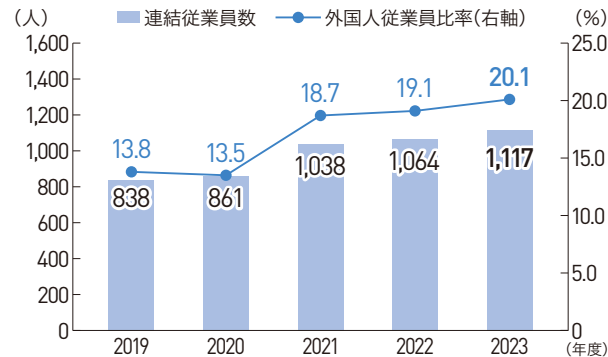
### ◆ キャッシュ・コンバージョン・サイクル



2023年度のCCC（棚卸資産回転日数+売上債権回転日数-仕入債務回転日数）は、前年度末比22.9日増加の134.6日となりました。前受金の増加がありました。引き続き棚卸資産が高止まりしており、棚卸資産回転日数の長期化が見られています。

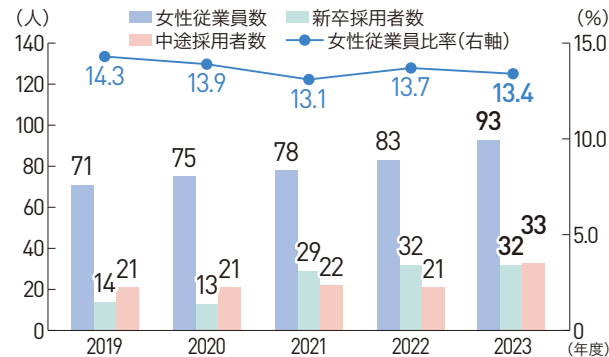
## サステナビリティ情報ハイライト

### ◆ 連結従業員数と外国人従業員比率



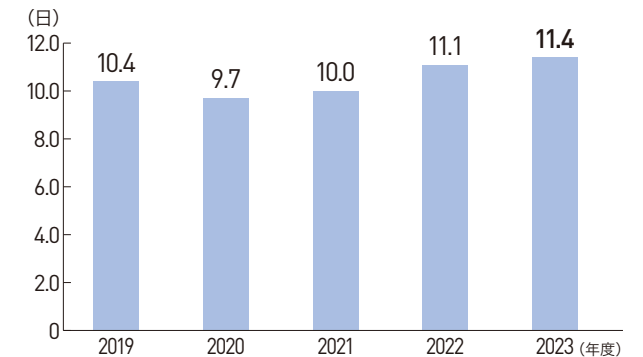
2023年度の連結従業員数は、前年度比53名増加の1,117名となりました。うち外国人従業員数は同20名増加の225名となり、外国人従業員比率は20.1%へ上昇しています。今後のASEAN市場の攻略に向けた体制強化が進んでいます。

### ◆ 女性従業員数と新卒採用者数及び中途採用者数(単体)



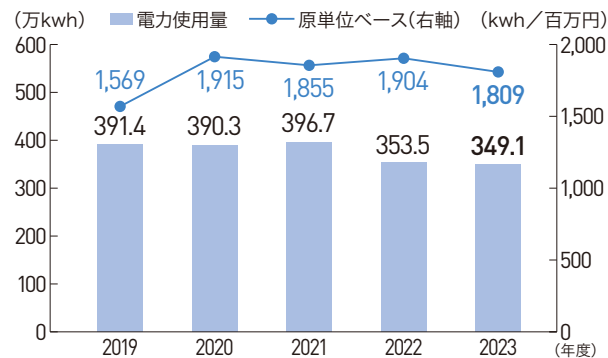
2023年度末の単体ベースの女性従業員数は、前年度末比10名増加の93名となりました。単体従業員数に占める女性従業員比率は13.4%と概ね横這いで推移しています。新卒採用者数は前年度と同じ32名、中途採用者数は同12名増加の33名です。

### ◆ 年間有給休暇取得平均日数(単体)



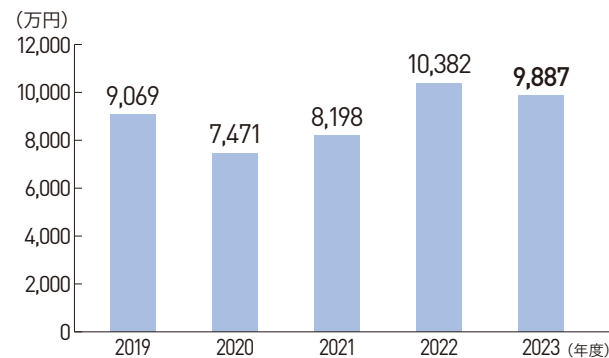
2023年度の単体ベースの年間有給休暇取得平均日数は、前年度実績の11.1日から若干増加の11.4日となりました。有給休暇の取得は、従業員満足度の向上やワークライフバランスの観点から重要な項目であり、今後も改善に努めてまいります。

### ◆ 電力使用量と生産高(単体)



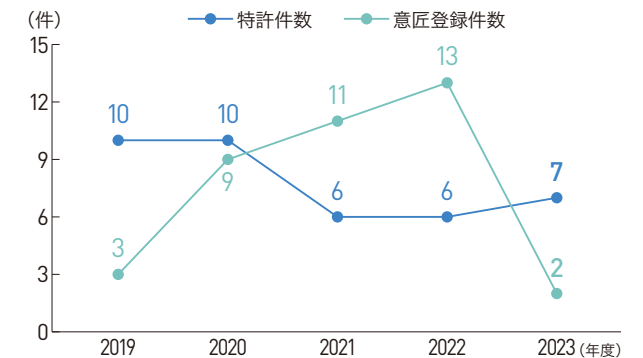
2023年度の電力使用量は、前年度比1.2%減の349.1kwhとなりました。生産高で除した原単位電力使用量は、同5.0%減の1,809kwh/百万円へ低下しました。今後もカーボンニュートラルの実現に向けた取り組みを強化します。

### ◆ ISO活動項目の費用推移(単体)



2023年度のISO活動項目(電気・水道・廃棄物・用紙)の合計費用は、前年度比4.8%減の9,887万円となりました。売上高が増加する中、資源の有効活用等のISO活動の強化を進めた効果が顕在化しています。

### ◆ 特許と意匠登録件数



2023年度の特許数は、前年度比1件増加の7件、意匠登録件数は同11件減少の2件となりました。一方、特許出願件数は16件、意匠出願件数は15件となりました。